

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境政策課長 湊 直樹 電話番号 0852-22-5345

| | | |
|---------|--|---|
| 事務事業の名称 | しまねの水環境モニタリング事業費 | |
| 目的 | (1) 対象 | 県民・事業者・行政 |
| | (2) 意図 | 公共用水域及び地下水の水質汚濁の状況を把握するとともに、工場排水を規制すること等により、水質汚濁の防止を図り、水環境の保全を図る。 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 公共用水域・地下水について、汚濁状況の監視、実態把握及び公表を行うために水質測定計画に基づき、水質調査を実施する ゴルフ場からの排水に残留している農業の実態把握、公表及び指導を行うために、ゴルフ場からの排水の残留農薬等の調査を実施する 海水浴場の水質の把握及び公表を行うために、水質測定計画に基づき水質調査を行う | |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | BOD又はCODに係る環境基準の達成率 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
|------------|----------------------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| | | | 目標値 | | 85.00 | 85.00 | 85.00 | 85.00 | |
| 式・定義 | 環境基準達成水域数/環境基準指定水域数 | 達成率 | 実績値 | 82.40 | 70.60 | 73.50 | 82.40 | | % |
| | | | 達成率 | | 83.10 | 86.50 | 97.00 | | % |
| 指標名 | 改善指導件数の割合 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 | |
| | | 目標値 | | 20.00 | 20.00 | 20.00 | 20.00 | | % |
| 式・定義 | 立入検査に係る改善指導件数/立入検査件数 | 実績値 | 20.40 | 25.70 | 26.70 | 27.40 | | % | |
| | | 達成率 | | 71.50 | 66.50 | 63.00 | | % | |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|------------|--------|--------|
| 事業費(b)(千円) | 15,092 | 17,468 |
| うち一般財源(千円) | 15,092 | 17,468 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 公共用水域におけるBOD（COD）環境基準達成率は82.4%となった
- 基準未達成の水域についても超過の程度はわずかな水域が多く、水質はおおむね良好な状態
- 事業場等に対する排水基準監視を179件実施し、うち改善指導件数は49件/年となり、改善指導件数の割合は27.4%に悪化した

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 環境基準達成率は昨年度よりも8.9%向上し、目標達成まで2.6%となった

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 環境基準達成率が目標に届かない
- 排水基準監視における改善指導件数の割合が近年微増傾向にある

②困っている状況が発生している「原因」

- 公共用水域の水質汚濁の改善が不十分である
- 平成25年度に、宍道湖中海流域において、汚濁負荷規制が強化されたため、基準不適合のおそれのある事業場が増加し、改善指導割合が増加したと考えられる

③原因を解消するための「課題」

- 水質改善に必要な家庭排水や工場排水等の適切な処理が必要である
- 特に規制が強化された事業場について、引き続き立入を行い、基準遵守を指導することが必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

家庭に対しては、啓発を強化するとともに、工場事業場に対しては引き続き、排水基準監視を徹底していく

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）